

「天が開かれた」

(マルコによる福音書1:7-11)

なぜ、罪なき主イエスが洗礼を受けたのでしょうか。それは、わたしたちとご自分が一緒になるためです。民衆はメシアを待ち望んでいました。ヨハネのもとに押し寄せる人々の光景を想像すると、その切実さが伝わってきます。救われたいと願う人々。これはわたしたちの姿でもあります。緊急事態宣言、止まらない貧困の連鎖、アメリカでのとんでもない出来事…。わたしたちを取り巻く現実はあまりにも困難で、わたしたちもまた道を求めてヨハネのもとに集った人々と同じように救いを求めています。そのわたしたちと一緒にいるために主イエスはご自分も洗礼を受け、わたしたちもろとも救いへ招きこむために、共に歩み始めるのです。

この救い主の歩む先は十字架です。神は洗礼によって主イエスに霊を降し、これから徹底的に神に従って歩むご自分の独り子、主イエスの十字架への歩みを支えます。受洗後すぐに祈る主イエスに、天が裂けて聖霊が鳩のように降りました。主イエスの受洗とともに、神の介入が開始されたのです。主イエスは洗礼を受け、今、神の霊とともに歩み始めます。さらに、神は声で語りかけます。

「あなたはわたしの愛する子。わたしの心に適う者。」

神は限りない愛と祝福によって、主イエスを励まし、勇気づけました。主イエスはこうして、神からの霊と励ましを受け、神の救いを待ち望む世界と遣わされ、人々と共に救いへと歩み始めるのです。

天が裂けるとは、絶たれていた神との関係が修復され、天と地との間に対話が始まったことを表します。主イエスの洗礼によって天が開かれ、主イエスの十字架上の執り成しによって、わたしたちは神に結ばれます。これにより、わたしたちも主イエスに降ったのと同じ神の霊と祝福に満たされた命を生きることができるのです。

年末から信徒の逝去が続きました。ご葬儀を通してクリスチャンとして生きられた方々との交わりを頂いています。そのなかで強く感じるのは、わたしたちが父と子と聖霊の御名によって洗礼を授けられた神の家族である、ということです。出会うはずもなかったわたしたちが同じ主のもとに集められ、出会い、主なる神の命に連なる者、キリストの身体に結ばれた家族とされているのです。神に結ばれ、霊とともにある命がわたしたちにもたらされているのです。それはとても尊く、心から感謝すべき事実です。この父と子と聖霊と共にある命こそ、主イエスの洗礼に始まり、その命を賭してまで実現してくださっ

た救いの賜物です。わたしたちはその命をいただき、父と子と聖霊との交わり
の中で家族とされ、生かされているのです。